

教育目標 ぶるちとを愛し、夢に向かって頑張る子どもの育成へえがお・げんき・いのち輝く東っ子

東小だより

文月号



文責 校長 田崎正明

一学期を終業しました

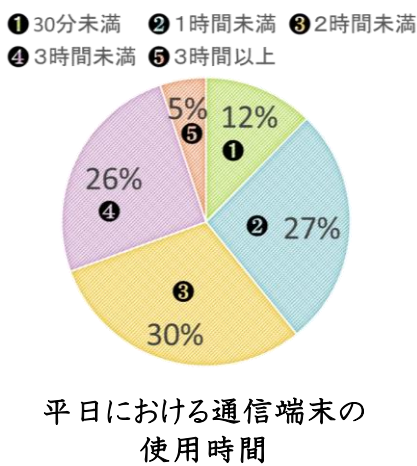
今日で一学期を終業しました。振り返れば、感染症と向き合い三回目の夏を迎えました。これまで、我慢と忍耐をもって教育にあたり、子供たちも同様に学校生活を送ってきました。その中であって、この二年間で痛感したことがあります。それは、体験の不足による子供たちへの影響です。「体験は、豊かな心を育てるために必要不可欠なもの。体験が最高の道徳教育」との言葉があります。その通りに、活動制限下であり、体験の機会が不足が子供たちの心に及ぼす影響の大きさを感じています。この反省に立ち、今後は、感染症対策を講じながらできる限り計画通りに教育活動を進めていきたいと考えています。そのことが子供たちの豊かな心の育成につながることを強く信じております。校歌にある「心豊かに励もうよ」のように学習に、生活にと精一杯になれる東っ子への成長に向けて、心の豊かさや強さを培う教育の実現を図っていききたいと思っております。

「めざす東っ子の姿をつくる」

教育指導の効果を高めるためには、子供たちと目標や取組の方向について共有することが大切であると考えます。現在、子供たちが進めている「笑顔大作戦」は、私たちが掲げる教育計画の東っ子版です。子供たちと同じ視点をもって、進んでいくことで、その先に教育の成果があると信じます。そのために目指す具体的な東っ子の姿を掲げています。最高学年である六年生の姿を東小の目指す子供たちの姿としてとらえ、その姿を求めています。六年生の言動に期待し、「すすんで、自分で自分たちで」という姿について、いろんな場面を捉えて、六年生を認め、ほめ、励まし、伸ばしていきたいと考えています。今学期には、「休み時間に一年生に勉強を教える姿」「手をつなぎ学校探検に連れていく姿」「掃除の仕方を優しく教える姿」「いろんな集いで指揮し、堂々と発表する姿」が六年生に見られました。そんな六年生の姿に一年生から五年生の子供たちが憧れを抱き、「自分もこんな六年生になろう」と強く心に刻んでいけるようにと私たちも指導支援を行ってきました。開校から六年、東っ子の姿に伝統を築けるようその基盤をつくる使命を強く感じています。皆様方には、本学期、深いご理解と温かいご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。二学期もよろしくお願い致します。猛暑が続いております。どうぞ、ご自愛ください。

通信端末の使用時間

先日、各家庭にアンケートのご協力をお願いし、お子さんの家庭での通信端末（含ゲーム）の使用時間についてご回答いただきました。左に掲載しているグラフは、その結果です。東っ子の六割以上が平日に一時間以上使用していることがわかります。二時間以上の使用に至る割合は三割を超えます。全体的な傾向として、使用頻度が高く、使用時間が長いことが挙げられます。通信端末は、現代社会において不可欠な道具となっており学校においても、その活用を図る学習や端末の操作スキルを高める機会を設けています。活用することは必要かつ大切なことです。ただ注視しなければならぬことは、端末使用の仕方については、心身へ悪影響を及ぼす場合は、通信端末の使用は本末転倒であると考えます。形骸化された言葉ですが「ルールを決めて」ということの実践をご家庭においても徹底をお願い致します。また、社会ではSNSに関わる様々な事案も問題化しています。ネットを介した表現方法についてはもちろん、その管理についても留意していくことが、子供たちを守る大人の責任であると考えます。ご家庭においても本件について話題にしてみてください。通信端末の有効活用をお願いします。



地域とともにある学校を目指して

学校運営協議会を開催しました。この組織は、校区における住民の方々のご意見をもとに、学校経営の充実を図ることを目的に編成されたものです。今回、一五人の委員の方々に学校経営方針を伝え、ご承認いただきました。近年の学校経営はその方向性が見直され、学校の独自の取り組みではなく、地域に広く意見を求め、地域の教育力を生かしながら学校運営を進めていく「地域とともにある学校」の実現が求められています。本校ではこれまで、多くのご支援をいただき、子供たちの学びを深めて頂いております。特に体験活動の展開には地域の方々のご支援は不可欠で、とても貴重なものとなっております。郷土愛、キャリア教育、安心・安全の保持など、地域の教育力による教育効果は絶大なものがあり、学校教育の成果は、地域連携の如何によるといっても過言ではありません。本年度は協議会を私たち大人だけのものとせず、児童生徒の参画による会議としました。学校経営の内容についても、子供たちが説明し、委員の方々と子供たちが協議しながら本校の教育への理解を深める会議として進めました。協議会終了後は、地域学校協働本部会議を開き、本年度の学校支援活動の計画づくりを行いました。学校・家庭・地域が一体となり、東っ子の学びを支える教育システムが出来上がりました。皆さんと、雨にも負けず、風にも負けずに、がっちりとしたスクラムを組んで前進できることを願っています。人を大事に、和を重んじてまいります。



協議会委員の方々に学校生活について説明する六年生

学校運営協議会

会長	久玉地区振興会長
副会長	深海地区振興会長
委員	久玉地区区長会長
委員	深海地区区長会長
委員	主任児童員
委員	天草漁協深海支所長
委員	明照園理事長
委員	久玉地区振興会副会長
委員	民生・児童委員協議会会長
委員	地域学校協働活動推進員
委員	元PTA会長
委員	牛深東中PTA会長
委員	牛深東小PTA会長
委員	久玉保育園理事長
委員	南消防署長

地域学校協働本部

学校応援部会	部会長
	読み聞かせ「しろやま文庫」
	牛深支所まちづくり係
地域安全部会	農業
	上揚区長
	部会長
※学校運営協議会委員の方々も協働本部に所属されています。	牛深警察署生活安全課
	久玉駐在所
	深海駐在所
	社会福祉協議会
	牛深図書館館長



学校生活についての意見を聞く子供たち



地域学校協働本部の様子

くまもと家庭教育十か条 第九条（地域全体での子育て）この子もあの子も 地域で子育て みんなの宝

東っ子のかがやき



入学式(4/11)
9人の東っ子が仲間入り



始業式(4/8)
新たな気持ちで学級開き



歓迎遠足(4/15)
東っ子全員で、牛深公園へ



運動会(5/22)
力と心を合わせて



子ども民生委員(5/31)
地域の方のために



歯の衛生週間(6/4~)
きれいに磨いて、むし歯ゼロ



栽培活動(6/9)
地域の方とサツマイモの苗植え



水難避難訓練(6/13)
命を守る行動にむけて



プール開き(6/16)
うれしい、楽しい、気持ちいい



水産加工工場見学(6/17)
ふるさとの産業の凄さを実感



環境学習(6/24)
水俣に学ぶ肥後っ子教室



環境学習(7/12)
鯛の稚魚放流活動



第二天草瀬戸橋の見学(7/13)
天草の発展を予感



「ツバメ」二年 平田大翔
ぼくは、ツバメを中にわで見つけました。
ツバメの色は黒、白、赤でした。ツバメの数は九つでした。
ツバメは、どろどろをつくっているそうです。
ツバメの大きさは、8cm - 1mmでした。
いま、ツバメのすに入ってたやつがぜんいんいなくなっていて、ぼくはしんぱいです。
これからツバメのおかあさんが、赤ちゃんをうむと思います。
とんでいるところをしゃしんでうつしたかったけど、すの中に入っていたやつをしゃしんでとれたからよかったです。
ぜひ、ツバメを見てください。

二年生の国語科の学習成果です。
題材「こんなもの、見つけたよ」

